

平成 26 年 第 2 回恵那市市民評価委員会

議事録（要約版）

日時：平成 26 年 8 月 28 日（木）

午前 9 時 10 分出発

場所：恵那市内各地

（現地視察及びヒアリング）

1 視察・ヒアリング順序

- ・こども元気プラザの運営（社会福祉課）
- ・市立恵那病院管理経費（病院管理課）
- ・木漏れ日作戦事業（管理課）
- ・商店街活性化事業（商工観光課）
- ・正家廃寺跡保存整備事業（文化スポーツ課）
- ・明智観光関連施設管理事業、大正村コテージこもれび管理事業（明智振興事務所）

出席者（敬称略）

【委員】市川美彦、奥村ひとみ、田口謙、柘植麻美、平野未帆、宮地政臣、三輪哲司

【欠席委員】大竹典子

【オブザーバー】竹内泰夫

【事務局】まちづくり推進部次長総合政策課長 小林敏博、総合政策課 服藤知晃、
総合政策課 佐古裕介

・こども元気プラザの運営

■担当課 国による新たな子ども・子育て支援制度により、恵那市も事業計画を策定している。保育園、幼稚園の変更の時期が来ており、市民の皆様にも説明をしている。平成 26 年 4 月から保育園、幼稚園は教育委員会部局に入ったが、子育て支援の部分は市民福祉部の管轄で、社会福祉課で担当している。子育て支援ではいろいろなメニューがある。女性が働きに出ることについて国も施策を行っているが、今まで通りの支援の仕方でのいいのかを整理して、考える時期にきている。そこで、今回こども元気プラザを市民評価事業に取り上げていただいたことはありがたい。事前にも質問をいただいているが、いろいろと質問、ご意見をいただき、今後の施策に参考として取り入れていきたいと考えている。

[事業概要、事前質問に対する回答について説明]

■委員長 委員から質問はあるか。

私から聞きたい。総合計画管理チェックシートの現状の中で、平成 24 年に子ども・子育て関連法が改正され、それに基づいて事業も新たに平成 27 年 4 月 1 日から新制度で運用していくということだが、現状の元気プラザの事業で、たとえば新制度をスタートすることになると、新たに何か加わるのか、現状と変わらないのか。

■担当課 今のところ新制度に変わって大きくは変わることはない。

■委員長 ここに記述されている平成 27 年 4 月 1 日に新制度によって新たにスタートするとあるので、現状の元気プラザの事業に新たに何か加わるのかどうかということをお聞きしたい。

■担当課 新しい制度について、幼稚園、保育園では変わる部分があるが、この事業では、利用人数の見込みなどに合わせての予算は考えているが、大きな制度の変更、サービスの内容変更はないので、今まで通り実施するというを予定している。

■委員 登録者数が現在約 2,400 人だ。過去の状況から見ると、1 万人近いと思うが、4 分の 1 になった原因は。

■担当課 小学校に入ると登録抹消する。未就学児だけ登録している。登録者は同じぐらい。あまり増えてはいない。

■事務局 市内の 1 年間の出生数が 400 人だとして、0、1、2、3 歳で 1,600 人ぐらいが恵那市の絶対数だ。

■委員長 登録者は、年間 300 から 400 人の出生児なので必然的に減るだろう。

今、指導体制が、所長と臨時雇用 5 名の形だが、当初登録よりもだんだん年間の出生率が下がってくる。当然その 100%がここを使うわけではない。登録そのものについては減っていくという可能性が出てくると思う。ただ、大井、長島の登録率が 60%を超えている

ことから、将来的に、恵那市がリニアの関係のまちづくりをするとき、他の地域から居住してもらうには、子育て支援は安心して恵那市に任せられるという特徴を発信しないといけないという現状がある。また、片方に、内容充実を進める上で、現状の指導員体制で100%満足なのか、こういったことも行政として考えているということがあるのか。

■担当課 事務事業成果表の今後の展開方法にも書いたが、子育て支援センター未開催地域での出張ひろばを開催していけたらと思っている。恵南には各町に子育て支援センターがある。串原にはないが、明智から指導員が月2回出張している。旧恵那ではやまびこと武並に2ヶ所とこども元気プラザであるが、恵南と比べると箇所数が少ない。別の場所に出張ができるなら遠くて行けないという人のためになると思う。それにあわせて指導員は日数を増やす関係で少し増額も必要かもしれない。

■委員長 運営委員会はどういう構成メンバーか。

■担当課 利用者、民生委員、子育て支援センターから園長が1名、子育ての経験者、ファミサポの援助会員で構成している。年に2回行っている。利用者の意見や、利用者以外から見た意見、年長の方の意見を聞いている。

■委員長 内容充実のために運営委員会活動は十分やるといい。

■委員 登録者数は串原が12人ということだ。登録はPRをしたとき行うと思うが、実際利用している人はすごく少ないと思う。串原に限らず。先ほど支援センターも串原にはないということだがその辺りはどうか。

■担当課 詳しく把握していないが、明智の方にはけっこう元気プラザに来ていただいている。串原は、月に2回、子育て支援センターを出張で行っている。遠くて来られない方は、近くの子育て支援センターに行ってください。そこにしか行っていけないというわけではないが、他の町に行きにくいということもあるかと思い始めた。昨年度月1回で始めて、今年度は月2回。10組ちょっとぐらいの方がみえる。元気プラザに遠くて中々来られない方には、地域の子育て支援センターを利用していただければと思う。

■担当課 出張の子育て支援センターがないところが、旧恵那の飯地、中野方、笠置、三郷、東野。笠置はやまびこが近いので、行っていただくことができる。未開催地での出張ひろばを、開催できないかと思っている。

それと、他の事業との連携ということで、大井、長島の児童センターがあり、今社会福祉協議会に事業をお願いしている。主が小学校に入ってから児童になるが、午前中は乳幼児を持つ親子もみえるので、連携を取って事業を調整するなど考えていきたい。

■委員長 子育ての事業で、元気プラザが片方にある。片方で、市民協会の関わりの中で公的なものがある。他にもまちづくり協議会がある。その分野の縦割りで子育てのことをやっているが、一番大事なものは横の連携で、お互いにやりとりしながら、事業内容の厚みを持つことだ。恵那市にはファミリーサポートセンターというのがあり、いろいろな運営

が委ねてある。その預かり場所としてここを活用しているように、どこが主体的になるかわからないが、子育てに関するグループと行政において連携を図ることで、恵那市の子育ての事業に厚みが出る。行政で横の連携を図るような取り組みを行ってほしい。

■副委員長 ここに来るのは登録した人で、その人たちが利用したいときに自由に来るということか。

■担当課 そうです。登録していない方も、住所、お名前を書いていただいで利用できます。

■副委員長 登録している人たちの親が、利用して、満足するということを考えていると思うが、なかなか来られない方にはいろいろ理由があると思う。その辺をつかんでいるか。

■担当課 元気プラザだけでなく、どこにも出かけられない方が心配。ここなど、どこかに来られる方は自主的に出てきていただけるので、どこにも出かけてみえない方への支援が必要。

■副委員長 内容は相談のようなことが主なのか。発達相談とか。

■担当課 発達相談は別事業になります。ここは親子での交流の場のような形になる。

■副委員長 子どもを育てるのは一番大事で、いろいろな面で将来につながる。今子ども園の話があるし、その関係など、日本は縦割り行政だったので、担当の方はここだけやるということでもいいのだが、難しいと思うが、横との関連を知った上で自分の事務をやることが重要だと思う。

■委員 ここにみえる方は、専業主婦か、パートで週に1、2回働いている人だけしか来られない施設だと思っていた。子育て支援センターは平日の午前中ですよ。フルタイムで働いている人をどこで支援しているのかなと思って3-1の質問をした。保育園に預けていると、送迎時などに先生と話す時間がない。子育て相談とかできない。恵那市でそういう事業はない。土曜日休みの人はここに来て相談できると思う。たとえば市役所に勤めている人は子育てをされていてどこで悩みを相談するのかと感じた。

■委員 社協で運営している児童センターを見ているが、夏休み、冬休み、春休みには、学童保育に行っている子は学童保育に来てもらうが、行っていない子どもが児童センターに来る。学校があるときには、昼間に未就園児の親子が遊んでいる。義務教育の子どもの休みによって、児童センターでも人数が多くなる。これから子育ての面では、方々にまたいで考えないといけない。そこも連携を取って、学校が休みの時の対応などを考えてもらいたい。

■委員長 質問に対してご丁寧に答弁をいただきありがとうございました。目的に沿って精一杯がんばっていただくことをお願いしたい。

・市立恵那病院管理経費

[事業概要、事前質問への回答について説明]

■委員長 質問はないか。

私からお尋ねしたい。質問 1-2 の関連について、理念が記されている。これは病院施設内の考え方だと思うが、国民健康保険で、当市も毎年特定健診をやっており、その健診率の向上を目指して担当部署が一生懸命やっているが、恵那病院にかかっている当市内の患者の中で、特定健診、集団検診、医療機関による健診を受けられる人があると思う。例えば他の診療科目を併せて病院で受けられるように勧めたり、集団検診を受けなさいという医師からの働きかけで特定健診の受診率が高まると思う。予防医療の役割もある。医師から患者へ、特定健診の受診の勧めは現状やっているか。

■恵那病院 難しい問題があります。特定健診や一般健診などの基本的な健診は、おそらくかかりつけ医、診療所のレベルでやるべきだという感覚を医師会を含めて全体的に思っている。病院が持つ機能の健診はドッグなどの専門的な機械を使ってやるものだという認識があるので、市がやる国保の部分は、何らかの形でとれる形はとっているが、それを充実してやっていくべきかどうかという問題はある。ただ、予防医療が重要だということを周知するのはいいことなので、病院の外来ロビーでもテレビで情報を流せるようになっており、特定健診の時期なども周知している。医師が直接勧めるのは患者が多い中で時間的に厳しいこともあるが、そういう部分での対応は考えていきたい。ただ、国保としては受診率を上げたいということもあるので、できる範囲でやりたいと思っている。

■オブザーバー 質問 1-5、1-6 で、市民のアンケートなどで、産婦人科の要望が高い。ただ、実際に非常にコストがかかるのは分かっており、問題はコストと便益のバランスで考えざるを得ない。シミュレーションをいろいろされているということだが、大体どれぐらいなのか。

■事務局 ここには要求する側と払う側と両方いるので。

■担当課 かなりの額になる。

■委員長 恵那市も合併後、平成 28 年度からの新しい計画に基づいて、10 年間の恵那市の財政シミュレーションをやっておるとすれば、およそどれぐらいかかるか、例えばお医者さんが公的病院でどの程度の給料で看護師さんがどれぐらいでということを経算すればおおよそ出ると思う。

■担当課 大体今書いたような人数でまかなうと、開院当初は 1 億から 1 億 5 千万の間で不足が生じるだろうと考えている。

■委員長 理屈づけしないといけない。片方で財政シミュレーションでこうなるといった中での事業費なので、明確に出していかないと。

■担当課 今後新しい総合計画を作る中でもその辺がある程度出てきますし、病院の経営としてのある程度の額を入れながらシミュレーションをかけている。かなりの費用は発生すると予想している。

■恵那病院 中津川市民病院があるところに委託した経費が、人件費だけで1億2千万円。4人の医師でということだ。すでにやっている病院が医者を集めるのにアメを出すのでそれだけだ。アメだけでそれだけなら、それ以外の経費がかかると今言われたので、本当に厳しいという状況だけを理解いただきたい。うちもあと助産師も5、6人足りないからあと10、20人雇うというぐらいのことをお願いしないとイケない。財政的なことを考えながらご検討いただければと思う。

■委員 中津川も恵那も4名と言われているが、やはり4名はいるのか。

■恵那病院 4名いないとできない。クリニックで安全なお産だけやるなら1人のドクターでできる。ただ、病院がやるお産は緊急性がある程度出る。重症だと県立多治見や岐阜に行くが、24時間態勢でやるには1人8時間で3名と休憩があると4名、常勤が3名プラス非常勤で4名でやらないと不可能です。

■委員 物忘れ外来が恵那病院の売りになると思う。皆さんが今一番興味があるところだ。家族を連れていきたくても、自分はぼけてないので嫌だと言われたときの支援があるといい。

■病院 10人ぐらい家族や興味のある人で講演会をしてくださいと言われれば、出前講座でそちらのリクエストに沿うようにお話しできるし、認知症カフェもありそこで気楽にお茶を飲みながら悩みを打ち明けようとか、患者本人さんにも来ていただければ参加いただける。

■委員長 平成22年度の金額。リハビリに対する金額が3億3千万と突出しているが。

■担当課 間違いです。1-5の平成22年度リハビリの金額は33,339千円が正しい。

■オブザーバー 成果表の事業コストの欄で、23年度の数字が低いが。

■担当課 これも過去の数字の入れ方が間違っていた。後でお知らせします。

■オブザーバー もう一つ。全面委託するときの評価をどういうスタンスとするのか。市として評価するのか。委託を受けた側も経営努力をするので、その努力も評価の対象になるのかならないのか気になる。これは評価委員会としての問題だが。

■委員長 この前市立恵那病院が全国自治体で表彰された。その経過を説明してほしい。

■恵那病院 決算で5年以上赤字を出さずということであれば、自主申告の世界だが、経営努力ができていたというところで表彰を受けた。恵那市の評価はいろいろある。先日のアンケートをとられたということ。もちろん病院運営は独自にやればよいものではなく、年に1度、恵那市と病院と病院協会と管理運営協議会を開いている。1年間の活動報告、今後の病院のあり方などの意見交換を、市と当院のトップでしている。

■恵那病院 病院の質の全国的な評価制度があり、その質が担保されているということを受けている。この更新が優良であれば5年に1回などだが。

■オブザーバー それと同じことをやっても仕方ないので、行政評価としてどういうスタンスでやるのかが気になった。

■恵那病院 年に1回、入院患者と外来患者の満足度を取っている。継続的にやっている。

■担当課 市としても、今まで恵那病院のアンケートだけだったが、市として外来患者のかたに対するアンケートを始めた。同じような結果が出るが、市としても別にどうなのかということはやり始めた。同じような質問を継続的に進め、毎年の満足度、問題点などをお知らせしながらやっていきたいと思っている。

■委員長 入院患者、外来の患者とのやりとりについて、直接は恵那の方法でけっこうだと思し、例えば諏訪病院がやっているように、医者と患者は同じ目線で言えない場合に、市民のボランティアによって、患者の声を聴いて、初めてその人に診察の話をして、医師がやっているのと違った角度の診察をすとか。思いを直接言えない患者に対して市民ボランティアが対応するやり方がある。平成28年に予定している新しい市民病院も、一層その辺の細かい配慮も含め、そういう病院運営ができるよう、ぜひ行政と振興協会連携を図り、より良い安心な病院ということを具体化してほしいということをお願いして終了したい。本日はありがとうございました。

・木漏れ日作戦事業

[事業概要、事前質問への回答について説明]

■委員長 質問があれば。

■事務局 伐採するのも地域の人か。

■担当課 市で行います。

■事務局 話は地域でつけてもらい、作業は市でやるということか。

■担当課 そうです。

■委員長 今説明を受けているこの場所も対象地域か。

■担当課 そうです。こういうところを伐採すると日当たりがよくなる。

■委員 ここはやってあるのか。

■担当課 まだやっていないが、こういう場所をやらないといけない。

■委員長 ここにも記載があるが、地権者との関わり方。要望を出す地元が、ただ市に持っていくのではなく、地元で話す方が話が早くいく。行政が話しに行くとしても地主からいろいろなことを言われる。その辺のスピードアップは地元で汗をかくことも大事なのではないかと思う。

- 担当課 そう言っていただけるとありがたい。
- 委員 私も地元で対応しているが、市道の管理地と民地の境がよく分からない。ここへ出ている枝が個人のものなのか、市道のものなのか。市道のものがはみだしていれば市でやってもらわないといけない。明確にしてもらえると頼みやすい。
- 担当課 要望を地域からいただき、現場確認して、市で管理している土地なのか、隣接地の個人の土地なのかを確認している。
- 委員 私のところも重機を借りて自分たちで切って東海バイオに持っていつている。たとえば木の部分が行政の管理地なのか私有地なのか明確でない。
- 担当課 杭が入っていると分かりますが。すべての路線に入っているわけではありません。
- 副委員長 この道路の上まで市の権利があるのか、木が生えている元のところなのか。
- 担当課 元です。出ている枝を勝手に切る時は地権者の了解を得て行っています。本来は生えているところの方が管理すべきなので。
- 委員長 所有者の理解が必要ということだ。地味な仕事だが、交通安全対策を含めて頑張ってください。

・商店街活性化事業

[事業概要、事前質問への回答について説明]

- 委員長 大井町も総合計画に基づき地域計画をつくっているが、今の課題にあがっているのもこの関係だ。1 つは現状で空き店舗対策を考えながら、お客の誘導も考える。空き店舗の所有権が違う人に移転しているかとか、貸す気があるかないかとか、空き店舗の貸し出しができるかどうかの調査は、地域協議会でやるということではなく、行政で実態をつかみ、活用できる店舗、できない店舗がどのくらいあってどういうものを入れるか、大井町地域協議会としても空き店舗対策をまちづくりの1つの考え方としてやらないといけないので、担当課と協働行動をしたい。
- 担当課 空き店舗を貸していただける可能性があるかどうかはほとんどつかんでいる。商店街さんがまちなか市などをやるたびにあたってくれて、市外に出た方を含めて、土地や電気が借りられるかあたっているので情報はつかんでいる。やはり貸していただけないケースが多い。これは奥に人が住んでいたり、中が片付いていなかったり、お店ごとの状況は違うがなかなかお借りできなくてシャッターがおりている店舗が多いのが現状です。ある程度こういうことをやりたいという人がいれば、うちに相談してもらっても会議所や商店街に相談してもらってもいい。紹介できる場所はどんどん紹介して入っていただきたいと思っている。

■委員長 見ての通りという状況でまた違った知恵があれば教えてほしい。地域の者としてお願いしたい。

・正家廃寺跡保存整備事業

[事業概要、事前質問への回答について説明]

■委員長 何か質問はあるか。

■委員 正家廃寺と言っているが、正式名称はわかっているのか。

■担当課 そうです。字名で言っている。寺の名前が分かればすごいことになるのだが。発掘して墨書などのある土器が出土し、そこに寺の名前を推測できるものがあればニュースになる。

■委員 名前がないとピンとこない。

■担当課 そういうものが発見されるといいが。そういう質問はよくいただきます。文献にも出ていない。恵奈郡など恵那の地名は出てくるが、一寺院の名前まではなかなか地方の場合は出てこない。

■オブザーバー 年代を確定する方法は。

■担当課 考古学の世界になるが、出土品の陶器などの形と変化を研究し、この時代の焼き物はこういう形というのが編年表という形で出ているので、それを参考する。

■オブザーバー もっと科学的に分からないのか。

■担当課 例えば柱などが残っていれば、年輪年代法などが使える。炭化物があれば放射性炭素による年代測定がある。

■オブザーバー 釘からはどうか。

■担当課 釘は焼き物ほど細かく変化がないので、分からない。一番頼りになるのは焼き物。年代の分かっているものと比較して推定する。年代による形の変化を調べる研究の積み重ねがあり、新しい発見があると前後したりして年代が見直される場合もある。

■オブザーバー 私は武蔵国分尼寺の近く、府中市に住んでいる。名前はないわけだ。同じような可能性はないのか。誰が作ったのか分からないが、中央の権力者が造ったなら名前をつけない場合もあるのでは。

■担当課 そのような可能性はあるかもしれない。郡に1つずつぐらいは地方の寺院があった。大垣にある美濃国分寺も名前はない。

■委員 廃寺と言われると何となく。

■委員 寂しい感じがする。

■担当課 地方寺院は、ほかでも〇〇廃寺ということが多い。

■事務局 全国でも三彩は非常に珍しい。

■担当課 都ではあるが地方で出るのは珍しい。恵奈郡ができたとき東山道があり、ここが東国の入口になる。神坂峠の向こうが東国になる。美濃は都からみて前線基地という位置付け。中央との結びつきがそれなりにあったことがこういうものが出る根拠になっている。

■委員長 他にはないか。本日はありがとうございました。

・明智観光関連施設管理事業、大正村コテージこもれび管理事業

(大正村コテージこもれび)

[事業概要、事前質問への回答について説明]

■委員長 ご意見や質問はあるか。

■担当課 できて10年位になるが、きれいに管理していると思う。ただ、冬場寒いので利用率が少ない。それを何とかできるといい。

■委員長 冬場にこの地域で何かやるスポーツやそれに類するものがあれば活用があると思うが。

■事務局 ここだけ単体では難しいかもしれない。

■担当課 平日だが、今日もたくさんお客さんが来ていただいている。今日は多いほうだ。

■委員長 平日に若い人が来ている。

■担当課 ここへ来るのは若い方が多い。年齢層が若い。

■事務局 夫婦や友だち関係で遊びに来て使っているということか。

■担当課 そうです。日帰りもある。ここでバーベキューをして食べてとか。休みの日などは宿泊する。料理も頼めるし、自分たちで食材を持ってきてバーベキューしてもいい。

■オブザーバー 駐車場は何台停まれるか。

■担当課 すぐそばには最低20台停まれます。さらに、手前にもあるし入口にもある。パンフレットの裏が明智の森という施設。次の施設に行くまでにここもぜひ通って見て行ってほしい。大変きれいに管理している。県下一ではないかと思う。

■委員長 宣伝しないといけない。

■オブザーバー オートキャンプ場は考えたことはないか。

■担当課 考えたが、やはりオートキャンプ場は川があるところ、水があるところがいい。すぐそばにため池があるが、普通のキャンプ場でいいのかなとなった。

■オブザーバー 思ったのはオートキャンプの中で、たまにはこういうところでゆっくり寝る日があってもいいのではということで、併設したらいいかもと思った。

■担当課 考えているのは、家族で来た場合、ペットも1人なので、ペットも泊まれる施設。このコテージは今のところはだめだ。指定管理なのでその中でうまくできるようにな

ればと今思っている。さすがに中は無理だが、デッキの向こう側や、入った所の芝生のところとか。

■委員 ドッグカフェが流行っている。犬を連れて飲食したい人が多い。明智の皆さんもそうおっしゃっていた。よいと思う。

■担当課 第二東名のサービスエリアに、芝生の広場で犬を走らせるところがある。そういうところもできるといいと思う。

■委員長 ペットの好きな人はいいが、利用者には苦手な人もおり、せっかく静養に来たのに隣のコテージで犬がほえたら、その辺は非常に難しい。

■担当課 難しいです。例えばペット用のところは離れたところにするとか。明智の森の中にキャンプ場がある。そこでペットと泊まった人があったことは聞いている。この後通っていく。

■委員長 情報発信をしていただき、許容範囲はあると思うがなるべく年間を通じて利用者が増えるようご努力いただきたい。

(明智観光施設：千畳敷公園)

[事業概要、事前質問への回答について説明]

■委員長 遊具を撤去する方向なら、使用禁止にしたほうがいい。例えば上り口のあたりに施錠するとか。

■委員 最近管理責任を問われる。

■担当課 「使用禁止」と貼ろうと思う。毎年遊具の点検はしている。

■委員長 早急に、怪我がないように使用禁止にしてほしい。

別の話だが、明智光秀を大河ドラマにしてほしいとNHKに要請行動をしたというのはここか。

■担当課 ここではない。

■委員長 結果としてそれが、観光誘致になる。例えば岐阜県内で、福沢桃助の大河ドラマをやったとき、貞照寺はそれを見るだけで観光客用の駐車場まで造った。

■担当課 来年4月のNHKの連続テレビでは、大正村の今ある施設の備品の中にアコーディオンがあり、それを題材にしたいと聞いている。

■委員長 他にはないか。ありがとうございました。

[閉 会]